

2021年2月17日

当リリースは2021年2月17日英文リリースの和訳です。下記リンク先で原文をご覧ください。

<https://www.riotinto.com/news/releases/2021/Rio-Tinto-announces-total-dividend-of-557-US-cents-per-share-for-2020-a-72-pay-out-from-robust-results-during-a-challenging-year>

リオティント 2020年度の業績を発表

リオティントは2021年2月17日、2020年度の業績を発表しました。

リオティントのCEOであるヤコブ・スタウショーンは次のように述べています。「2020年は特別な年でした。世界的に流行する新型コロナウイルス感染症への対応でも、安全面の成績でも、当社は堅実な実績をあげました。しかしユークン渓谷でのできごとが大きく影を落とすことになりました。あのできごととは決して起こってはならなかったものです。」

「2020年を通して当社の事業と従業員は機敏さと強靭さを発揮し、それに商品価格上昇が加わって、特別項目を調整したEBITDA 239億ドル、使用資本利益率（ROCE）27%を達成することができました。結果として、取締役会は1株あたり特別配当93米セントを含む1株あたり総配当557米セントを承認しました。これは過去5年間の配当実績に基づいた年間配当性向72%に相当するものです。」

「私のもとに刷新したエグゼグティブ・チームとリーダー陣はみな、当社の持つ潜在的な能力を最大限に引き出すことを心に誓っています。好業績の推進とプロジェクト開発により焦点を絞り、ESG（環境・社会・ガバナンス）面での信頼強化に取り組んでまいります。取締役会と緊密に協力しながら、伝統的土地所有者、操業・事業をおこなう地元のコミュニティー、各国政府ほかステークホルダーの皆様へ信頼されるパートナーとなるべく努めてまいります。そのためには持続的で一貫した取り組みが必要、というのが私をはじめ当社の共通認識です。」

「世界レベルの資産、優秀な人材、投資規律、堅固なバランスシートを伴った安全で適切な運営によって、当社は株主の皆様へ優れた利益還元をおこない、持続的で成長力のあるポートフォリオに投資し、社会へ幅広く貢献できているのです。」

| 年末時点 | 2020年 | 2019年 | 対前年比 |
|--|--------|---------|------|
| 営業活動によるネット・キャッシュフロー（百万米ドル） | 15,875 | 14,912 | 6% |
| 資本支出 ¹ （百万米ドル） | 6,189 | 5,488 | 13% |
| フリー・キャッシュフロー ² （百万米ドル） | 9,407 | 9,158 | 3% |
| 連結売上高 ² （百万米ドル） | 44,611 | 43,165 | 3% |
| 特別項目を調整したEBITDA ² （百万米ドル） | 23,902 | 21,197 | 13% |
| 純利益（百万米ドル） | 9,769 | 8,010 | 22% |
| 特別項目を調整した1株あたり利益 ² （EPS）（百万米ドル） | 769.6 | 636.3 | 21% |
| 1株あたり普通配当（米セント） | 464.0 | 382.0 | 21% |
| 1株あたり配当金総額（米セント） | 557.0 | 443.0 | 26% |
| 純負債 ² （百万米ドル） | (664) | (3,651) | |
| 使用資本利益率（ROCE） ² | 27% | 24% | |

当財務報告は国際財務報告基準（IFRS）に従って作成しています。

- 2020年、安全面では2年連続で死亡事故ゼロを達成し全労災発生率を0.37%に改善するという実績をあげました。しかし、新型コロナウイルス感染症による疲労やその他のプレッシャーのために日常業務での安全リスクは高まっており、現状に満足してはならないと認識しています。
- ユークン渓谷でのできごと以降、プートゥ・クンティ・クラマ・アンド・ピニクラ（PKKP）の方々からの信頼回復に努めています。昨年12月のPKKPと当社取締役会の会合後に出された**共同声明**で触れたように前進はしていますが、信頼と評価を取り戻すにかかる時間と労力を、過小評価してはおりません。

- 新しいスコープ1、2の炭素排出目標値を導入した2020年は当社の気候戦略にとって重要な年でした。現在は新しいスコープ3の目標値を設定済みで、取締役会は2022年度年次総会で、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に従った年次報告を勧告的投票にかけるとの予定です。
- 営業活動によるネット・キャッシュフロー159億ドルは2019年に比べて6%の増加。これは主に鉄鉱石価格の上昇と安定した業績によるものです。そのためフリー・キャッシュフロー²が3%増の94億ドルとなり、資本支出¹は7億ドルの純増で62億ドルとなりました。
- 特別項目を調整したEBITDA²239億ドルは2019年を13%上回り、特別項目を調整したEBITDAマージン²は51%でした。
- 特別項目を調整した純利益²124億ドル（特別項目を調整したEPS²は769.6セント）は2019年を20%上回り、特別項目を調整した純利益に対する実効税率は29.5%で2019年と変わりありません。控除後の純利益98億ドルは2019年を22%上回りましたが、これは11億ドルの減損を反映したものです。減損の大半は2020年上半期（5カ所のアルミニウム製錬所とダイアヴィック・ダイヤモンド鉱山）に計上されており、また13億ドルの為替差損も含まれます。これは2019年の減損17億ドルに匹敵します（主にオクトルゴイ地下坑内の銅・金プロジェクトとヤーワン・アルミナ精製所によるもの）。
- 純負債²が30億ドル減少して7億ドルとなったことで改善されたバランスシートは、2020年に株主へ63億ドルをキャッシュで還元したことで部分的に相殺されたものの、当社のフリー・キャッシュフローの強さを反映しています。
- 1株あたり557米セントおよび特別項目を調整した純利益の72%に相当する90億ドルの年間配当には、本日発表した50億ドルの記録的な最終普通配当（1株あたり309米セント）および15億ドルの特別配当（1株あたり93米セント）が含まれています。
- 2020年業績発表の全文（英語）は[こちら](#)。

注

1. 資本支出は総額ベースで表示されており、有形固定資産の処分により受領したキャッシュを考慮していません。
2. これら指標は事業評価のため当社経営陣により内部的に使用される非GAAP代替業績指標（「APM」）です。読者にとって有用と判断し当社グループの事業の基調的な業績をより明確化するために掲載しています。

リオティントについて

リオティントは、ロンドンとニューヨークの証券取引所に上場する Rio Tinto plc とオーストラリア証券取引所に上場する Rio Tinto Limited からなる二元上場会社で、英国に本社を置いています。国際的大手鉱業グループとして探鉱、鉱業と鉱物資源の加工を主たる事業とするリオティントの主要な生産品目には、鉄鉱石、アルミニウム、銅、ダイヤモンド、ウラン、金、産業用鉱産物（ホウ砂、酸化チタン、塩など）が挙げられ、人類の進歩に必要な不可欠な製品を供給しています。豪州と北米を重要なビジネス拠点とする一方で事業活動は世界にまたがり、南米からアジア、欧州、アフリカにおよびます。

リオティントと日本について

日本はリオティントにとって最も重要かつ長期にわたる取引パートナーのひとつです。当社の鉄鉱石ビジネスは1960年代に日本の製鉄会社による長期の購入契約を背景に発展を遂げ、日本の高度経済成長期を良質な原料資材の安定供給で支えてきました。リオティントは今日も日本に対する鉄鉱石の最大のサプライヤーであり、これまで50余年にわたり19億トン以上を出荷。また、金属・鉱物資源においても、日本最大のサプライヤーのひとつとして250社を超える日本の顧客企業へアルミニウム、銅、モリブデン、ダイヤモンド、産業用鉱産物（ホウ砂、酸化チタン、塩等）を輸出しています。さらに、日本企業は当社の大切なパートナーとして世界中の合併事業やバリューチェーン、技術革新に欠かせない存在です。

お問い合わせ

リオティントジャパン株式会社 コーポレートリレーションズ

中川奈津子 03-3222-2441 / 080-7111-8747

email: natsuko.nakagawa@riotinto.com

riotinto.com/japan  www.facebook.com/riotintojapan  twitter.com/riotintojapan

Contacts

media.enquiries@riotinto.com

riotinto.com

 Follow @RioTinto on Twitter

Media Relations, United Kingdom

Illtud Harri

M +44 7920 503 600

David Outhwaite

T +44 20 7781 1623

M +44 7787 597 493

Media Relations, Americas

Matthew Klar

T +1 514 608 4429

Media Relations, Asia

Grant Donald

T +65 6679 9290

M +65 9722 6028

Media Relations, Australia

Jonathan Rose

T +61 3 9283 3088

M +61 447 028 913

Matt Chambers

T +61 3 9283 3087

M +61 433 525 739

Jesse Riseborough

T +61 8 6211 6013

M +61 436 653 412

Investor Relations, United Kingdom

Menno Sanderse

T +44 20 7781 1517

M +44 7825 195 178

David Ovington

T +44 20 7781 2051

M +44 7920 010 978

Clare Peever

M: +44 7788 967 877

Investor Relations, Australia

Natalie Worley

T +61 3 9283 3063

M +61 409 210 462

Amar Jambaa

T +61 3 9283 3627

M +61 472 865 948

Group Company Secretary

Steve Allen

Joint Company Secretary

Tim Paine

Rio Tinto plc

6 St James's Square

London SW1Y 4AD

United Kingdom

T +44 20 7781 2000

Registered in England

No. 719885

Rio Tinto Limited

Level 7, 360 Collins Street

Melbourne 3000

Australia

T +61 3 9283 3333

Registered in Australia

ABN 96 004 458 404